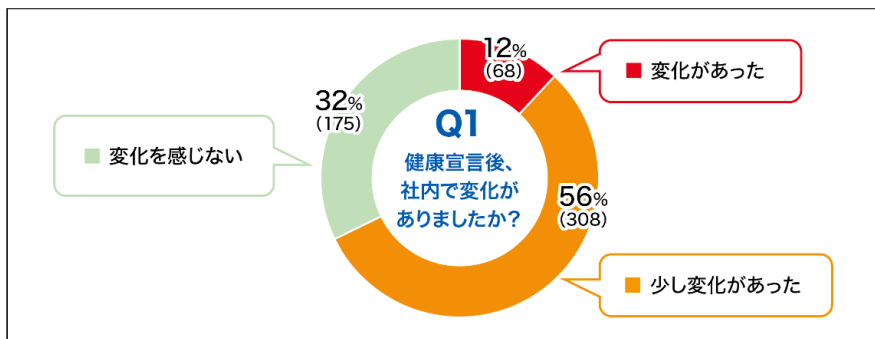




令和7年度健康宣言アンケート結果

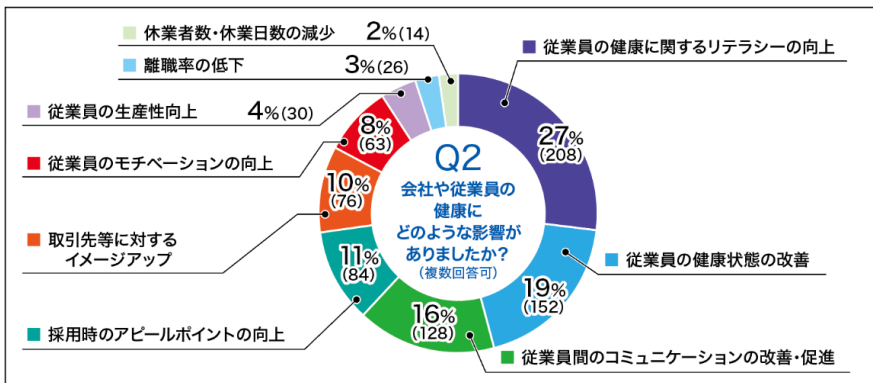
9月に実施した健康宣言事業所への
アンケートから読み解く職場の変化と課題

令和7年度に実施した健康宣言アンケートの結果をご紹介します。（回答数：551社）

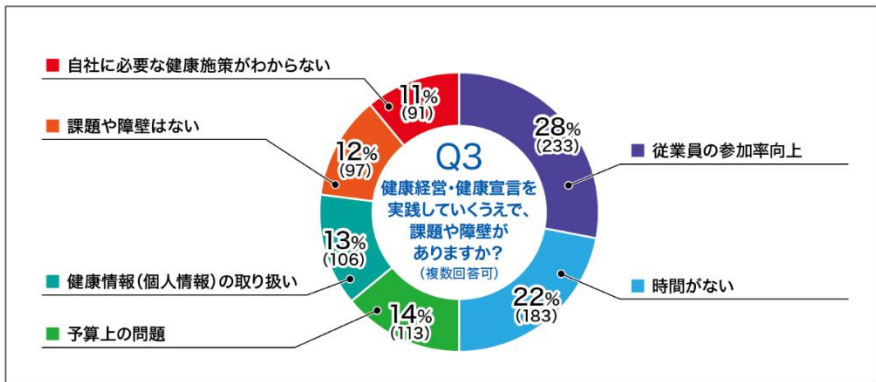


健康宣言に取り組んだ事業所の約7割が「社内で何らかの変化があった」と回答しました。健康づくりへの取組が、職場に一定の前向きな変化をもたらしていることが分かります。

最も多かったのは「従業員の健康に関するリテラシーの向上」で、次いで健康状態の改善や従業員間のコミュニケーションの改善・促進が挙げられました。健康経営の取組が、心身の健康だけでなく職場環境の改善にもつながっていることがうかがえます。



※複数回答のため、割合は「回答数ベース」で算出しています。



※複数回答のため、割合は「回答数ベース」で算出しています。

課題として多かったのは、「従業員の参加率向上」と「時間の確保が難しい」という回答でした。取組の重要性は感じつつも、実践・定着に向けた工夫が求められている状況です。

まとめ

健康宣言アンケートの結果から、健康経営により多くの事業所で前向きな変化が見られました。一方で、取組の継続に向けては、参加率向上や時間確保といった課題もあります。協会けんぽ京都支部では、結果を踏まえ、事業所の実情に応じた健康経営の推進実施に向けたサポートを行っていきます。

